

おいしいね!

生協 アイチョイス 岐阜機関紙



2024.5
きびたき号
オスはカラフルで、明るく大きな
さえずりでメスの関心をひきます

発行責任者 | 生活協同組合アイチョイス岐阜
理事長 子安 貞継
☎058-215-5566

春になりました。農産物が多くなる季節ですね。今回の機関紙ではこの地域の有機の歴史から今日にいたるまでをたどって有機農業をより深く知りたいと思います。

秋松さんの時々コラム 食からみた平和 vol.3

昭和40年代の終わり頃です。子育ての真っ最中で、仕事と子どもの世話に明け暮れていました。

そのころ岐阜市では、女性が話し合い、学び合った事を生活に活かすための「生活学校」が開かれていました。私の地域でも15名程の母親が集まり、食べ物、子育て、地域活動の事など話し合ったものです。

その中で私が特に心に留めたのは、化学合成の食品添加物と農薬、合成洗剤でした。それが元になって大勢の母親と共に生活協同組合の活動に関わる事になったのです。

子どもの将来の健康、環境汚染を危惧し、各地区で学習会を開き、組合員が一緒になって努力しました。しばらくして組合員からこんな声があがりました。「生活の中でできるだけ化学物質を取り除く努力をしても、一日の食事の1/3にあたる学校給食では農薬も添加物も洗剤もそのままだ。」

そのころのPTAには給食委員会があり、その会合で農薬や添加物について投げかけてみました。それに関心をもった親もいましたが「国が許可したものだから問題ないでしょ」「学校給食は親の代わりになって子どもにご飯を食べさせているのだから残さないように食べる事が第一よ」という親が大多数でした。当時、三重大学の教授が出された合成洗剤の本や、海の魚におよぼす影響などの写真を見てもらい、せめて合成洗剤をせっけんに替えられないかと思いましたが、「学校給食はまもなくセンター方式になるから」などと答えにならない答えが返ってくるだけでした。

この委員会に関わって一年が過ぎ、最後に頂いた言葉が「あなたがやろうとした事は100年早かった」でした。

あれから100年ではなく50年が経ちました。

日本の各地で「学校給食を有機の農産物で」という活動が広がっています。お米をはじめ、野菜、果物など有機の農産物を生産者と共に育てあげ組合員に提供している生協連合会アイチョイスの2030年ビジョンにもその活動が目標として入っています。

私達も学校給食について何らかの意思表示をして行動を始める時が来たのかもしれない。

しかし、日本の農業を別の角度からみた時に心配な事もあります。耕されていない農地、農家の高齢化、そして日本の主食の自給率の低さです。

今私達は豊かな食生活を享受しているように見えますが、その根は弱く細いものではないでしょうか。他国で起きているような戦争に巻き込まれたらどうなるのでしょうか。今はとりあえず平和だからこそその有機農産物であり、食べ物が欲するままに手に入るのだと思います。 [Y.A]



おいしいね!

アイチョイスの農産物の基準

アイチョイスでは独自の4つの農薬基準を設定し、すべての農産物に記載して情報を公開しています。

- 1 有機栽培** 種まきや植付けの2年以上前から「節減対象農薬」「化学肥料」不使用の畑(ほ場)で栽培
国の認める第三者認証取得
- 2 農薬節減栽培** その地域で慣行的に用いる「節減対象農薬」の成分数を5割以下に減らして栽培
アイチョイス 独自基準
- 3 農薬不使用栽培** 「節減対象農薬」を使わず栽培
アイチョイス 独自基準
- 4 ネオニコチン不使用** ネオニコチノイド系農薬を使用していない農産物

Q 有機栽培とは

農林水産省HPによると、このように記載されています。「有機農業の推進に関する法律」による有機農業の定義は以下のとおりです。

- [1] 化学的に合成された肥料及び農薬を使用しない
- [2] 遺伝子組み換え技術を利用しない
- [3] 農業生産に由来する環境への負荷をできるだけ低減する農業生産の方法を用いて行われる農業です。



※お米の場合は、JA経由の産地もあり生産者の個別調査ができない場合は現状の農水省「農産物ガイドライン」に従った表示となります。農薬を減らす生産者を支援するため、一部、慣行栽培米も扱っています。

※お茶の場合は、生産者が、アイチョイス以外でも商品の流通がある場合、同一商品としての整合性を持たせる必要性から「農産物ガイドライン」に従った表示となります。

理事活動 アイチョイスグループ 生産者訪問

■高知県土佐市 他 2/1~2

2/1	土佐鯉節発祥の地「竹内商店」 天敵農法「かめのご農園」 堆肥場見学「高知競馬場」	2/2	都築さんナス圃場 前田さんパプリカ圃場 有機ニラ「大地と自然の恵み」 特別栽培米「武市農場」
-----	------------------------------------------------	-----	---------------------------------------------------------

Part 2
前回の報告に続き、第二弾の報告です。組合員の皆さんに知ってもらいたいことがたくさん!



高生連現地交流会、今回は鯉節屋さんについてお伝えしました。今回は高知県の生産者訪問で楽しみにしていた、天敵農法をされている圃場見学のお話です。

高知県のピーマンやなすの栽培では天敵農法が主流で行われているそうです。訪れたピーマン農家の「かめのご農園」さんは岡本さんご夫婦と娘さんご夫婦で営んでいます。娘さんが小さい頃アレルギーがあり原因を探っていた、ちょうどその時は農薬全盛期だったそうです。農薬は体によくないのだと、2002年くらいに天敵農法に取り組み始められました。

ひとことで害虫、天敵と言ってもどこにいるかわからないくらいの小さな虫。岡本さんには見えても私にはなかなか見えず、ルーペを使って見せていただきました。害虫を見つけたら、そこに天敵を投入するのだそうです。購入して手に入れる天敵もいますが、土着天敵(地域に存在する天敵)の方がハンター能力が高く、すぐに仕事をするため、20種類ほどの天敵を捕まえに行ったりもするそうです。「ハウスの中で24時間働いてくれる天敵は大事な従業員」と話す岡本さんは虫愛に溢れていました。ハウスの中は生物多様性で生態系のバランスが保たれた空間でした。

虫たちに守られて育った収穫したばかりのピーマンはえぐみがなく、とてもみずみずしくて水分がこぼれ落ちるほどでした。そして、「生協さんには買い支えてもらっているから、いろんな冒険ができて有難いです」と言われた言葉が心に残っています。 [理事Y.N]

理事活動

内堀醸造見学会

3/4

■加茂郡八百津町

「オーガニックについて学びませんか」の第二弾として、八百津町にある酢を造る会社、内堀醸造の見学に行ってきました。長野県にある支社では見学することができるそうですが、本社での見学受け入れは無いとのことでした。ですが内堀醸造が地元岐阜県にあり、創業150年という老舗であることや、数々の有機JAS認証の酢造りをしていることから是非見学させて欲しいとお願いして実現しました。



11名の組合員さんと理事も含め17名が参加しました。まず最初に目に入ったのが何本も立ち並ぶ巨大なタンクです。5年前に改装された建物の中には、ずらりと酢が展示してありました。美濃有機のりんご酢をはじめ、ポン酢・ワインビネガー・らっきょう酢・すし酢等々。皆さんは酢がどのように造られているかご存知でしょうか？工場長から酢についての話を聞いたとき、正直驚きました。「酢造りは酒造りから始まる」!?丁寧な精米することから始めてまずは酒を造る。そこに酢酸菌を投入して発酵させると酢に大変身。実際に工場内に入ってタンクの上から中を覗いて香りをかがせてもらうと、ほんのりお酒の香りがしていましたが、次の工程の工場では逆に酢の香りが漂っていました。酒に酢酸菌を加えてからはタンク内でバブルを出して攪拌しているため、中を見ることはできませんでした。その日はりんご果汁を発酵させたものがタンクに入っていてまだ未完成でしたが、りんごの香りというよりすでに酢の香りになっていました。最後にポン酢を造る工場では、だしをとるための北海道利尻産の昆布がドーンと積んでありました。経節は鹿児島県枕崎産の枯節を削って一番だしをとるという原料へのこだわりを感じました。

工場見学の後、レタスにオリーブオイル→りんご酢→ブラックペッパーをかけて食べましたが、塩が無くて十分おいしく、家でも実践できるヒントになりました。醤油に1割の黒酢を混ぜて使うと酸っぱく感じることなく減塩できることや、ジャムに少量のりんご酢を加えるとフレッシュな味になることなども教えてもらえ、酢をうまく使いこなせると思いました。これからも組合員さんが、安心安全な商品を作っている生産者の生の声を聞けるような企画をしていきたいと思えます。 [理事H.I]



理事活動

ネットワーク21 定例会

2/16.17

■栃木県 宇都宮市 他

ネットワーク21定例会で宇都宮に行ってきました。講演会は、OKシードプロジェクト事務局長の印鑰智哉さんのお話でした。ゲノム編集や遺伝子組み換えの食べ物は日々進化していて、知らないうちにそんな食べ物を口にしていた、ということも十分に考えられるのだと恐ろしくなりました。常に新しい情報に耳を傾け、知った上で選択していきたいと思えました。

そして、「これからの生協をどうしたいか」という内容で、いろいろな生協の理事さんたちと交流しました。生協の歴史や規模、地域によって様々ですが、いろいろな取り組みがあり、リアルに交流することで感じる温度ある言葉からは学ぶことが沢山ありました。そして何より他を知ることでアイチョイス岐阜がより見えたように感じました。

2日目はバスに1時間ほど揺られ那須高原にある帰農志塾の圃場見学へ。

新規就農者を受け入れながら平飼鶏卵と少量多品目野菜を生産している農家さんです。畑の事はもちろんですが、所々にいろんな考え方を話してください、それが心に残りました。その中のひとつに、新規就農者を育てるにはトップダウンで指示をして動くスタイルでやると効率がいいし生産量も多いけれど、それでは独立できない。どんなタイプの人でも自分で考えて決断できなくては畑はやっていけないと。何をやるにも同じで、与えられたことをするのではなく、自分で考えて決めることが大事であり、自分で考え悩んだ先に成長があるのだと思えました。学びの多い実のある2日間でした。 [理事Y.N]



理事活動

第8回はなしルフレンズ

2/27.29 3/12.13



第8回はなしルフレンズが4会場で開催されました。自己紹介から始まり、今回のテーマは「私のおすすめ生協商品」と「普段気になっていること」。その他、話したいことがあれば何でも自由に話せます。

参加された組合員さんの話はどれも興味深い内容でした。その中で特に印象に残ったのが「うさぎ」の話です。組合員さんの飼っているうさぎが体調を崩してしまい慌てて病院へ連れて行ったところ、先生に「添加物や農薬で育った野菜を与える事が原因」だと言われ、アイチョイスの人参を食べさせてみると…ピタリと治りすぐに体調が良くなってびっくりしたそうです。このお話を聞いて、アイチョイスの野菜は人間だけでなく動物にも優しい事を実感しました。



はなしルフレンズを開催する事で組合員さんの意見を参考にその方のニーズにあった生協に変わっていかれたらと思います。 [理事H.Y]



Instagram



フォロワー数が1000人を達成しました!!

2022年の8月に開設した公式Instagramは、日々更新を続け、フォロワー数1000人、投稿数200件を更新しました。

スタッフ自身が毎週購入する商品の中からおすすめしたいと思う商品をピックアップする【商品紹介】や【レシピ】は、人気があるコンテンツです。また、生協のことをもっとよく知りたい!という組合員さんからは【組合員活動の様子】や【キッチンカー情報】が嬉しいとの声をいただいています。今年度は【もぐもぐモニター】やプレゼントキャンペーン等の企画を充実させ、組合員のみなさんとのコミュニケーションをさらに深められる配信をしていきます。今後も応援よろしくお願ひいたします。

委員活動

総代だより 2024年4月号発行内容

高生連現地交流会報告～地元資材を生かした循環型農業学習～/テーマ会～内堀醸造見学会報告/2023年度の理事が取り組んだ活動報告/2023年度第3四半期決算報告/能登半島地震緊急募金報告/4コマ漫画～洗剤選び～他

理事会報告

2023年度 第9回理事会

2024/2/22 生協富加センター会議室 他 出席:理事11名(11名中) 監事3名(3名中)

【協議決定事項】

第19回通常総代会日程について 2024年度予算案について カタログ不要者のお届け票配布停止について 2023年度連合会への増資と2024年度分担金について 2024年1月31日現在の2項組合員について

2023年度 第10回理事会

2024/3/21 生協富加センター会議室 他 出席:理事10名(11名中) 監事3名(3名中)

【決議事項】

総代定数の確定及び総代選挙管理委員会の設置について 全岐阜県生協連への出資金増資について 岐阜県ユニセフ協会への賛助会員登録について 定款の一部変更について 2024年度予算案承認について

【協議決定事項】

第19回通常総代会日程の確定について 総代会議案の確認について 2024年2月29日現在の2項組合員について

能登半島地震緊急募金報告

アイチョイスグループ3生協(アイチョイス岐阜、あいち生協、一宮生協)合同で、2月3回企画まで、緊急募金の呼びかけを行いました。

アイチョイス岐阜の組合員の皆さまから 1,961,500円(3生協合計で17,209,500円)のご協力をいただきました

お預かりした募金は、被災されたアイチョイスグループの取引先・生産者支援の他、日本生協連及び認定NPO法人レスキューストックヤードを通じて被災地・被災者支援のために使用させていただきます。ご協力いただきました皆さまありがとうございます。

機関紙おいしいね! つばめ(2024.3)号掲載の理事会開催日の間違いについてお詫びと訂正をいたします

■理事会報告

2023年度第8回理事会開催日が「2023/1/25」となっています。正しくは「2024/1/25」です。なお、ホームページに掲載分は、正しい日程に訂正済みです。

【報告事項】 月次決算報告について

Table with financial data including supply high, February, and cumulative totals, with columns for amount and ratio.

仲間づくり(組合員拡大)

Table showing membership growth for February and cumulative totals, including a comparison to the previous period.

CO-OP共済

Table showing CO-OP insurance statistics for February and cumulative totals.